

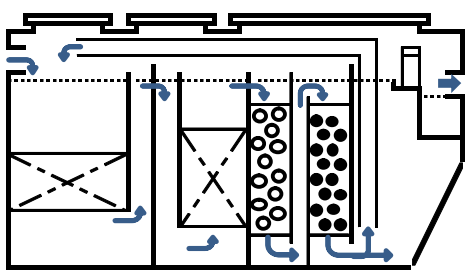
事例4 6 移送水量と逆洗回数を抑え逆洗時間を長くした事による水質改善事例

1 基本情報および一年間の測定結果等

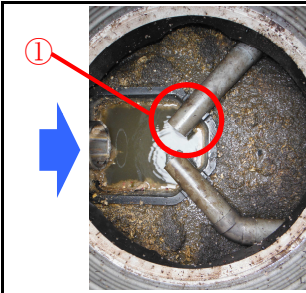
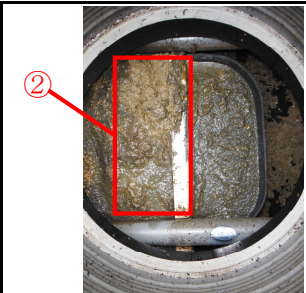
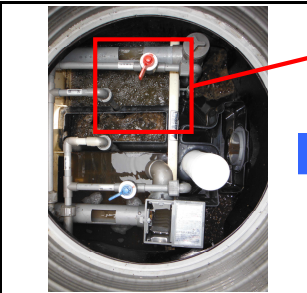


処理方式	性能評価型 BOD除去型				人槽/使用人員				7人槽/6人使用			
メーカー/型式	(株)ハマネツ/KGC2型				日平均汚水量				1.48m ³ /日			
作業予定月(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
保守・清掃・法定	-	-	保守	-	法定	-	保守	-	清掃	-	保守	-

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		処理水槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
保守	平成25年3月11日	24	0.6	7.4	15	5	17	1	16	0	19
法定	平成25年5月21日	17	0.8	7.6	9	7	21	1	21	0	25
保守	平成25年7月9日	32	1.5	7.5	17	10	20	1	18	0	7
清掃	平成25年9月10日	38	/	7.3	16	14	23	/	17	/	/
保守	平成25年11月22日	49	2.3	7.3	28	5	11	0	6	0	4

2 法定検査時の槽内状況と設定状況および概要図

法定検査時の状況			概要図		
① 1次処理2室に堆積汚泥が多い(21cm)。 ② 1次処理流出水透視度が9度に低下している。 ③ 前回保守点検時に処理水槽の堆積汚泥が19cmと多い状況から、逆洗回数を2回に増やしている。			 <p>ろ材 担体 ろ過担体</p>		
	メーカーの基本設定	保守点検の設定			
循環水量(3Q~4Q)	3.1~4.1 L/分	0.6 L/分			
逆洗設定	1日 1回 (1回 10分)	1日 2回 (1回 10分)			
移送水量	20~30 L/分	26 L/分			

3 槽内写真

流入				放流
	1次処理1室の状況 ①移送汚泥の採泥箇所	②1室から2室に汚泥が押し流されている。	2次処理の状況 ③	
				
	①移送汚泥 上部にSSが多い。 右:移送1分後 15% (39分経過) 左:移送10分後 2% (30分経過)	③逆洗時の状況 汚泥多い。 清掃口にスカムが浮上。		

4 透視度低下の原因

- ① 逆洗回数が多いことで、2次処理に汚泥が流れ込んでいる。
- ② 逆洗時の移送汚泥は沈降性が悪い。

5 法定検査から保守点検への指示内容

- ① 移送水量を10L/分に変更して下さい。
- ② 改善傾向がなければ、逆洗設定を1日2回10分から1日1回15分に変更して下さい。

6 保守点検から法定検査への返信内容

放流水の水質		措置① 平成 25年 5月 24日 (法定検査から 3日後)
透視度(度)	17	移送水量を10L/分に変更しました。 逆洗回数は1日2回10分で変更せず様子を見ます。
pH	7.6	
DO(mg/L)	0.7	
放流水の水質		措置② 平成 25年 6月 7日 (法定検査から 17日後)
透視度(度)	21	移送汚泥の沈降性に変化がなく、逆洗の設定を1日1回15分に変更しました。
pH	7.5	
DO(mg/L)	1.1	
放流水の水質		措置③ 平成 25年 6月 21日 (法定検査から 31日後)
透視度(度)	30	透視度が改善しました。 1次処理流出水透視度も16度に回復しました。 移送汚泥は沈降性が良くなりました。
pH	7.3	
DO(mg/L)	2.1	
放流水の水質		措置④ 平成 年 月 日 (法定検査から 日後)
透視度(度)		
pH		
DO(mg/L)		

7 保守点検から清掃への申し送り事項

- ① 移送水量は10L/分で調整しています(清掃後は、基本設定より抑える)。
- ② 循環水を停止して下さい。
- ③ 逆洗設定を1日1回15分から1日1回10分に変更して下さい。

8 清掃時の留意点

- ① 清掃記録票から水質等、一年間の経過と申し送り事項の内容を踏まえ作業と調整を行う。
- ② 1次処理1室は骨格様球状、2室は網様円筒状のろ材を使用。
- ③ 清掃後は移送水量や循環水量を抑え、1次処理の固液分離機能を高める。